

第7回の論点（3 経済・活力，4 地域のちから）

【基本的な論点】

- ① 基本構想の目指す将来都市像や重点目標が達成（実現）できるような、優先順位がつけられているか
- ② 優先順位付けにおける考え方は妥当か
- ③ 今後10年間を見据えて優先的に実施していく施策・取組・事業として妥当なものが選ばれているか

※ここでの優先順位は、①市全体の視点からの戦略上の優先順位（事業の本質的な重要性の優先順位ではない）と、②各分野での施策・取組等における段階設計（何を、どういう順番でやっていくか）という2種類の意味で、その設定の考え方等について議論。

1 第2章(3)経済・活力

(1)全体の構成

- ①経済の低成長が見込まれる中、未来に向け持続可能な都市であるために基礎となる経済基盤（税収確保）の維持・強化として、人を呼び込む【施策1～3】、魅力的な産業の育成（&雇用の受け皿拡大）【施策4】、農業の強化【施策5】の3つが、特に優先される……という考え方について

(2)人を呼び込む【施策1～3】

- ①柏の顔である中心市街地のみ依存した集客構造は吸引力の低下等から困難であり、北・中・南部の拠点化という土地利用の観点からも、各拠点の特性を活かした集客策の展開が優先される（各拠点で施策を1つずつ）……という考え方について
- ②中心市街地（施策1）は、単なる従来型の商業活性化だけではなく、長期的視点に立ったエリア形成が重要……という考え方について

(3)魅力的な産業の育成（&雇用の受け皿拡大）【施策4】

- ①雇用は社会的・地域課題であり、昼間人口の拡大等経済的にも効果が大きいですが、まずは魅力的な企業や産業がもっと育たなければインパクトのある雇用の受け皿はできないことから、受け皿となる魅力的な産業の育成を優先すべき……という考え方について
- ②魅力的な企業や産業の育成においては、既存企業の活性化の支援も重要であるが、税収や市民の雇用等様々なメリットをもたらす付加価値の高い企業（どの様な企業でもよい訳ではない）に絞った戦略的な誘致が特に重要……という考え方について

(4)農業の強化【施策5】

- ①柏の農業は様々な課題を抱えているが、（地域経済を牽引する存在というより）地域経済をつなげていく存在として、仕事としての魅力や経営力の向上が最も重要……という考え方について

(1)全体の構成

- ①未来に向け持続可能な都市であるためには、市民の主体的な活動によるまちづくりを通じ、柏を好きなる・誇りを持てることが重要となることから、まずはコミュニティの再構築【施策 1】、その他の活動として文化【施策 2】やスポーツ【施策 3】活動の3つが、特に優先される……という考え方について

(2)コミュニティの再構築【施策 1】

- ①行政のみでまちづくりは困難であり、今後は財政的にも益々市民・地域の力が不可欠な中、従来からの一般的な町会の強化（加入拡大等）よりも、新たな担い手の発掘・育成が優先される……という考え方について

(3)文化【施策 2】

- ①いろんなものを薄く満遍なくやるのではなく、強み＝吹奏楽を磨き上げ、様々なジャンルに好影響を与えるという戦略が必要……という考え方について

(4)スポーツ【施策 3】

- ①スポーツは「する・みる・ささえる」の切り口があるが、将来の重点課題であり目標でもある「健康寿命」を意識すると、最も「する」が重要……という考え方について